

土地改良区等名		診断日	平成 年 月 日		診断者氏名	
施設名						
調査部位	番号	判定基準	判定	対応範囲	排水ポンプ（横軸・縦軸斜流ポンプ）	
主ポンプ A	①	ケーシング部にひび割れ、亀裂、腐食等がないか。	○	アイウ		
	②	ケーシング部の塗膜のはく離、合せ面からの水漏れ等がないか。	×	アイウ		
	③	運転時に、主軸、軸受部で異常振動等がないか。		イウ		
	④	運転時に、軸受部で温度の異常上昇や油漏れ等がないか。		イウ		
	⑤	運転時に、軸受部のグランド封水量は適量か。		ウ		
	⑥	運転時に、軸継手部で芯振れ等異常振動がないか。		イウ		
	⑦	ベース部でひび割れ、破損、腐食等がないか。		アイウ		
付帯設備 B	①	制水弁にひび割れ、亀裂等がないか。		イウ		
	②	制水弁のボルト・ナットの弛み、脱落等がないか。		ウ		
	③	制水弁のインターロックスイッチの作動は良好か。		ウ		
	④	制水弁の開度計に差異はないか。		ウ		
	⑤	逆止弁にひび割れ、亀裂等がないか。		イウ		
	⑥	逆止弁のボルト・ナットの弛み、脱落等がないか。		ウ		
電動機部 C	①	モーターの表面温度に異常上昇等がないか。		イウ		
	②	モーターの接地線の取付状態は良好か。		ウ		
	③	モーター、台座等にひび割れ、亀裂、破損等がないか。		アイウ		
	④	電圧計の作動状況は良好か。		ウ		
	⑤	電流計の作動状況は良好か。		ウ		
	⑥	ボタンの作動状況は良好か。		ウ		
	⑦	表示灯は点灯するか。		ウ		
	⑧	ディーゼル機関のボルト・ナットの弛み、脱落等がないか。		ウ		
	⑨	ディーゼル機関の潤滑油が劣化、変質してないか。		アイウ		
	⑩	ディーゼル機関の油・清水冷却器の防蝕亜鉛に著しい消耗がないか。		アイウ		
	⑪	予備電源装置が正常に稼働するか。		ウ		
	⑫	付帯設備、冷却ポンプ、燃料移送ポンプ、空気圧縮機、場内排水ポンプ等正常に稼働するか。		ウ		

判定欄：異常なし ○ 異常あり ×
 対応範囲：異常なしの場合「記入しない」。何らかの異常を確認した場合「ア：経過観察」「イ：要診断」「ウ：要対策」から選択し○を記載。】